

(別添5)

事業所名 グループホーム 花・花(川浪)

2 目標達成計画

作成日: 平成 30年 1月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(14)	「一人ひとりの尊重とプライバシーの確保」について、懇親が増すにつれて言動が乱れ「尊重している」とは言い難い言葉かけをしていることがある。	人権・個性を尊重し、「傷つけない」言葉かけをする。	・「人権を尊重する」とはということなのか、いま一度熟考し適切な言葉かけについて話し合う。 ・どういった場面で不適切な言葉かけをしているのか、職員個々が「自身の特性」を知る。	3ヶ月
2	(18)	「日常的な外出支援」について、取り組みが不十分である。	個別の外出支援に努める。	・「ちょっとそこまで支援シート」を活用し、ご本人の思いに沿った外出支援に取り組む。 ・月初めに実施計画書を作成し、計画的に実行する。	3ヶ月
3	(9)	「思いや意向の把握」について、聞き取りが不十分である。	思いや意向の把握に努める。	・ちょっとしたしぐさや言動から垣間見る変化に気づき、記録に残して情報の共有を図る。 ・ご本人の目線に立って考察し、その時の最善策をチームで検討する。	6ヶ月
4	(12)	「終末期に向けた方針の共有」について、早期～終末期の各ステージにおいて、ご家族の揺れ動く思いをこまめに聞き取り、意向の確認を行う。	入居時や終末期に近づいたタイミングの他、安定期のお元気な時にも生前意思確認を行う。	・年に1回(誕生月)は必ず家族への意向の確認や望みをうかがう場を設ける(看護師)。 ・日ごろより家族と良好な関係を築く努力をする。(全員)	12ヶ月
5	(13)	「災害対策」について、地域と連携した訓練の実施できていない。	地域と協力し合って災害時対策の訓練を実施する。	・地域住民参加型の災害訓練を目標に、近隣地区の自治会長と協議させていただく。	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。